

2025年12月24日

「みんなの健活プロジェクト」「地元の元気プロジェクト」の実績について  
～「健康寿命の延伸」「地方創生の推進」に貢献～

明治安田生命保険相互会社（執行役社長 永島 英器）は、2030年にめざす姿『ひとに健康を、まちに元気を。』最も身近なリーディング生保への実現に向け、2024年4月から開始した新たな3カ年プログラム「My Mutual Way II期」において、2「大」プロジェクト（「みんなの健活プロジェクト」<sup>（注1）</sup>および「地元の元気プロジェクト」<sup>（注2）</sup>）の取組みを強化し、「ヘルスケア・QOLの向上」と「地域活性化」という二つの方向にさらに役割を拡充することで、社会課題の解決への貢献とグループベースの持続的な成長をめざすとともに、お客さま・社会への還元の拡充に向けて取り組んでいます。

「みんなの健活プロジェクト」では、お客さまの“けんしん”（健康診断・がん検診等）受診と疾病「予防」に向けた前向きな取組みを後押しし、2025年10月の調査における「ベストスタイル 健康キャッシュバック」にご加入のお客さまの「健活年齢」<sup>（注3）</sup>と実年齢の差は加入後6年経過時点において-2.0歳<sup>（注4）</sup>となり、同性・同年代と比べて入院等の可能性が低いことが分かりました。また、直近1年間で健康意識が高まった人<sup>（注5）</sup>の割合は73.5%となり、未加入者よりも12.3pt高いことが確認できました。

「地元の元気プロジェクト」では、2025年9月末までに1,105自治体<sup>（注6）</sup>と連携協定を締結しました。自治体やパートナー契約11周年を迎えた日本プロサッカーリーグ（以下、Jリーグ）、日本女子プロゴルフ協会（以下、JLPGA）等のスポーツ団体との協働による当社ならではの取組みに加え、各地域の抱える課題の解決に取り組み、半年間<sup>（注7）</sup>で約508万人にご参加いただきました。

当社は、今後も2「大」プロジェクトを通じ、みなさまの健康づくりと豊かな地域づくりに貢献してまいります。



（注1）プロジェクト詳細：<https://www.meijiyasuda.co.jp/brand/kenkatsu/>

（注2）プロジェクト詳細：<https://www.meijiyasuda.co.jp/brand/jimotonogenki/>

（注3）総合的な健康状態を年齢で表した、当社オリジナルの新たな指標。当社が開発した「健活未来予測モデル」を使用し、お客さまにご提出いただいた健診結果と既往歴（給付金等のご請求履歴等）から、お一人おひとりの将来の入院リスク等を精緻に予測し、算出

（注4）「ベストスタイル 健康キャッシュバック」の加入者のうち、加入後6年経過時点における集団の健活年齢と実年齢の差の平均値を集計。ただし、毎年定期的に健康診断結果を提出していないお客さまを除く

【ご照会先】  
広報部 広報グループ TEL 03-3283-8054

明治安田生命保険相互会社 〒100-0005 東京都千代田区丸の内2-1-1

ひとに健康を、まちに元気を。



(注5) 従前から高く、それを維持している人を含む。当社が「ベストスタイル 健康キャッシュバック」の加入者等に実施した2025年度アンケート結果

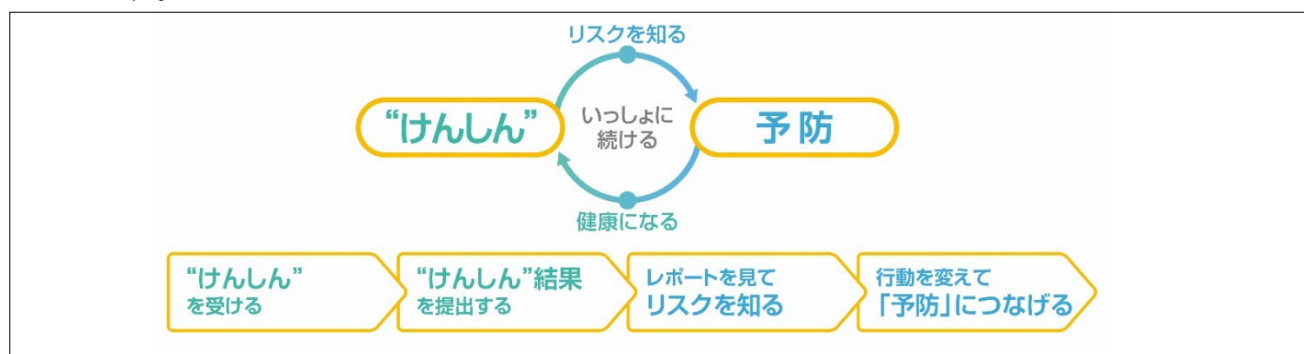
(注6) 44都道府県および1061市区町村。2025年度9月末時点の累計実績

(注7) 2025年4月から9月まで

## 1. 「みんなの健活プロジェクト」について

### (1) プロジェクトの概要・コンセプト

「みんなの健活プロジェクト」では、「“けんしん” と予防」をコンセプトに、お客さまの定期的な“けんしん”（健康診断・がん検診等）の受診を促すとともに、疾病「予防」に向けた前向きな取組みを後押しすることで、健康寿命の延伸やQOL向上をめざしており、地域みなさまにもご参加いただける健康増進「アクション」、「けんしん」応援型の「商品」や、疾病予防・健康増進に資する「サービス」、の3つの面で取組みを推進しています。



### (2) プロジェクトの取組内容

#### 行動変容のきっかけとなる「アクション」

- ・ 特定健康診査や一般定期健康診断では使用しない健康チェック機器を使用し、気軽に「健康状態・疾病リスクを知る」機会を提供する「明治安田の健康チェック」の一環として、2024年4月から「QOL健診 明治安田×弘前大学」<sup>(注8)</sup>を全国で開催しており、2025年10月末時点で約19,000人（当社従業員含む）にご参加いただきました。
- ・ また、脳の活性化を通じた健康づくりを支援する取組みとして、河出書房新社の「大人の塗り絵」コンテンツを使用した「明治安田大人の塗り絵コンクール」を2022年より計6回開催し、これまで約91万作品のご応募をいただきました。さらに、一般社団法人日本健康麻将協会との協働のもと、認知症・フレイル予防への効果や地域コミュニティの活性化が期待される「健康マーじゃん」<sup>(注9)</sup>イベントを2024度から開催し、2025年10月末時点で累計約10,300人のお客さまにご参加いただきました。
- ・ こうした取組みの結果、健康増進イベント全体としては、2019年のプロジェクト開始以来、累計で約858万人のお客さまにご参加いただきました。

(注8) 国立大学法人弘前大学が独自の研究をもとに開発した「ＱＯＬ健診」をベースに、明治安田と弘前大学の共同研究成果を踏まえ、明治安田版にアレンジした健康啓発型イベント。普段測定しない全身の健康状態に関する項目を楽しく短時間で測定し、その場で結果をお渡しするなど、健康増進の啓発効果が高いことが特徴

(注9) 「賭けない・飲まない・吸わない」を合言葉に「健康づくり・仲間づくり・生きがいづくり」を目的とした、健全な頭脳スポーツとしてのマージャン。２０２６年３月には厚生労働省後援のもと、当社が本大会初の冠スポンサーとなる「明治安田杯 健康麻将全国大会」（一般社団法人日本健康麻将協会主催）が開催される予定

#### <「ＱＯＬ健診 明治安田×弘前大学」の様子>



#### <健康マージャンイベントの様子>



#### “けんしん” 受診を後押しする「商品」

- ・“循環器病”にかかる社会課題解決に貢献すべく、２０２５年１月に発売した「循環器病対策Ｐｒｏ」<sup>(注１０)</sup>は、健康な時から発症後の療養までのお客さまの健康状態の変化にあわせて、循環器病専用の「保障」と「サービス」を組み合わせでご提供する商品となっており、累計販売件数は２０２５年１０月時点で約２７万件となりました。
- ・がんと並ぶ日本人の国民病“循環器病”について、お客さまに正しくご理解いただき、予防の大切さを知っていただくため、ＭＹリンクコーディネーター等（営業職員）を含む当社職員の約１５，６００人が日本循環器協会認定「循環器病アドバイザー」資格<sup>(注１１)</sup>を取得し、啓発活動を実施しています。啓発活動にあたっては、国立循環器病研究センター監修のもと作成した循環器病に関する冊子やチラシ等を活用し、循環器病に関する正しい知識を多くのお客さまにお届けしています。
- ・定期的な“けんしん” 受診を後押しする「“けんしん” 応援型」の健康増進保険としてご提供している「ベストスタイル 健康キャッシュバック」は、２０２５年１０月時点での累計販売件数が約１７０万件に達しました。
- ・「ベストスタイル 健康キャッシュバック」では、ご加入のお客さまに対し、提出いただいた健康診断結果に応じて、キャッシュバックをお支払いしています。より多くのお客さまに定期的に“けんしん” を受けていただき、疾病「予防」に向けた前向きな取組みを後押しした結果、キャッシュバックのお支払実績は、２０２５年９月末時点で累計約３０７億円、のべ約３０１万件となりました。

(注１０) 対象商品は「ベストスタイル 健康キャッシュバック 循環器病 対策Ｐｒｏ」・「メディカルスタイルＦ」（「循環器病継続保障特約」または「循環器病重症化予防支援特約」を付加）・「循環器病 対策Ｐｒｏ」

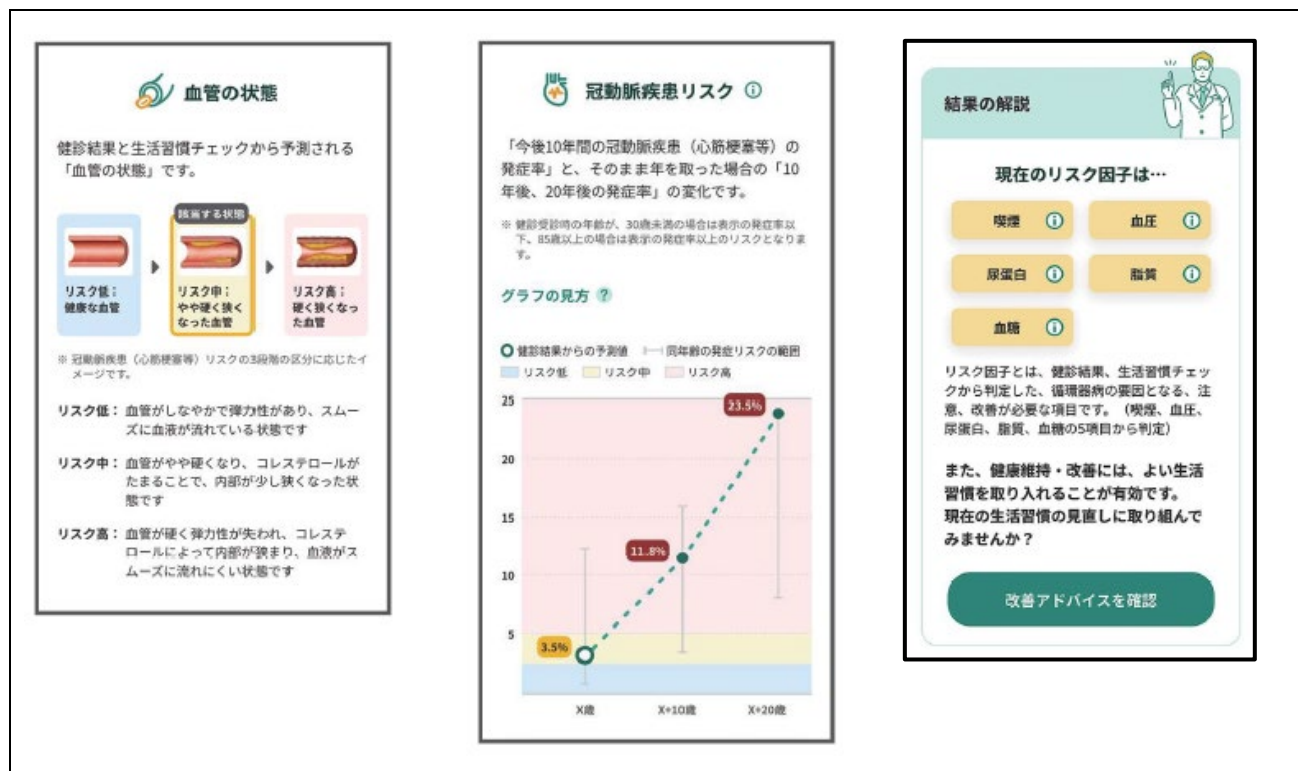
(注１１) 日本循環器協会が認定する資格制度で、ｅラーニングでの学習とオンラインテスト合格を通じて「循環器病の伝道師」として予防啓発活動を行なう人を養成するもの。この制度は、健康増進に貢献できる「伝道師」を育成し、一般市民が身近な専門家（例：保険外交員、薬剤師など）から正しい知識を得られるようにすることを目的

## 疾病予防や健康増進に役立つ「サービス」

- ・2025年10月に「健活年齢」を算出する仕組みについて、特許を取得しました。  
「健活年齢」は、「ベストスタイル 健康キャッシュバック」にご加入のお客さま専用のサービスである「MY健活レポート」<sup>(注1 2)</sup>に掲載しており、お客さまご自身の健康状態の総合評価を確認いただくことで、疾病予防に向けた行動変容を後押ししています。
- ・また、2025年4月には、将来の健康状態の予測モデルの開発等に向けて、国立大学法人弘前大学とのこれまでの共同研究を進展させ、「明治安田×弘前大学 QOL共創研究所」を設立しました。
- ・さらに、「循環器病 対策Pro」にご加入のお客さま専用のサービスとして、ご提出いただいた健康診断結果をもとに、血管の状態や循環器病の発症リスクを予測する「明治安田血管レポート」や、救急搬送時等に本人の代わりにご家族へ連絡を行ない、処置に関する迅速な意思決定のサポートをする「緊急時家族連絡サービス」など、さまざまなサービスをご提供しています。

(注1 2)「ベストスタイル 健康キャッシュバック」にご加入のお客さま専用のサービスとしてご提供している、ご提出いただいた健康診断結果をもとにお客さまごとの健康増進に向けたアドバイスや疾病リスク予測等の情報を提示する機能等を搭載したレポート

### <「明治安田血管レポート」のイメージ>





- ・がんについて、正しい情報や適切な相談先が分からないといった社会課題に対して、2025年8月に都立駒込病院と包括連携協定を締結し、同病院のがんの専門医と対面または電話で相談できる「明治安田のがん相談窓口」や、同病院のがん専門医が執筆したがんの基礎知識や先進的な取組み等を掲載した「明治安田のがん情報サイト」のご提供を2025年12月から開始しました。
- ・今後も「みんなの健活プロジェクト」の取組みの強化を通じて、「ヘルスケア・QOLの向上」に努めてまいります。

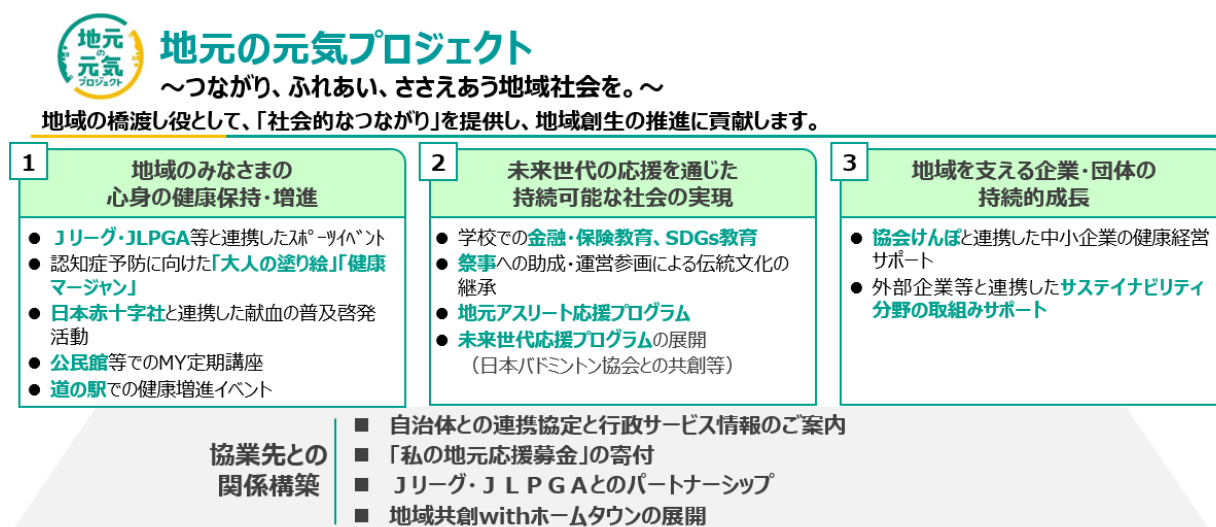
## 2. 「地元の元気プロジェクト」について

### (1) プロジェクトの概要・コンセプト

「地元の元気プロジェクト」は、地域の自治体や企業・団体と連携し、地域のみなさまとその地域の資源・コミュニティを結びつけることで、「地方創生の推進」への貢献をめざす取組みです。

全国を網羅するネットワーク（1,100を超える拠点、約48,000人の従業員）を活かして、「地域のみなさまの心身の健康保持・増進」「未来世代の応援を通じた持続可能な社会の実現」「地域を支える企業・団体の持続的成長」に向けた取組みを行なっています。

### (2) 本プロジェクトの取組内容・実績（2025年4月から9月までの実績）



プロジェクトを支える以下の4つの活動を通じた協業先との関係構築をもとに、各地域における地域活性化に向けた取組みを推進しており、半年間で約508万人にご参加いただきました。

- ① 全国1,105自治体（別紙1参照）との連携協定の締結など、市区町村単位の自治体や地域の公共セクターとの強固な関係の構築
  - ・自治体と連携した協働イベントを開催し、2024年度に実施した自治体アンケートでは92.6%が肯定的回答（別紙2参照）

- ・連携協定を締結している自治体と協働し、MYリンクコーディネーター等（営業職員）が、地域のみなさまの「健康」「介護」「子育て」「防災・防犯」の4つの分野に関する生活課題を確認し、その解決の一助となる行政サービス情報をご案内する「行政サービス案内」活動の実施
- ② 当社従業員がゆかりのある地域を指定して行なう任意の募金に会社拠出分を上乗せした「私の地元応援募金」による、自治体・NPO団体等への寄付（1,396団体にに対し10億440万6,895円）
- ③ 2014年からタイトルパートナー契約を締結しているJリーグ、2021年からオフィシャルパートナー契約を締結しているJLPGAとの強固なパートナーシップ
- ④ 個別の地域課題解決に向けた、自治体・外部企業と当社との協働（地域共創 with ホームタウン）の展開

#### <地域共創 with ホームタウンの事例>



※こどもシゴト博®は（株）CHEERSの登録商標です

#### <各地域における地域活性化に向けた取組み>

##### **地域のみなさまの心身の健康保持・増進に向けた取組み**（2025年4月から9月までの実績）

- ・ Jリーグクラブ等と協働し、世代を問わず気軽にご参加いただけるウォーキングイベント「Jリーグウォーキング」を69回開催したほか、地元Jクラブの選手等から直接指導が受けられる「小学生向けサッカー教室」を118回開催しました。JLPGAとの協働では、全国各地の大会にて『『明治安田×JLPGA』健康チェックブース』を出展しています。
- ・ 認知症予防に向けた「明治安田大人の塗り絵コンクール」、脳の活性化や認知症予防に加え、地域コミュニティの活性化を目的とした「健康マージャン」イベントを展開しています。
- ・ 日本赤十字社、Jリーグと連携した献血の普及啓発活動「シャレン！で献血」を中心とした、日本赤十字社との協働取組みを248回実施しました。
- ・ 全国の公民館・生涯学習センター・地域包括支援センター等と連携し、健康・介護・子育て等をテーマとした「MY定期講座」を1,364回開催しました。
- ・ 全国の道の駅と連携し、ご来場者や駅関係者を対象に、健康測定会やスポーツ大会等のさまざまな健康増進イベントを203回開催しました。

<健康増進イベントの様子>



<シャレン！で献血の様子>



## 持続可能な社会の実現に向けた、未来世代を応援する取組み

(開催実績に期間の記載がない場合は2025年4月から9月までの実績)

- ・小・中・高生を対象とした「保険」や「お金」に関する出張授業「金融・保険教育」を各地で2,629回開催(2024年度実績)しました。
  - ・地元で大切に受け継がれてきた206祭事への協賛金の寄贈に加えて、MYリンクコーディネーター等が事前準備や当日の運営ボランティア等に参画しています。
  - ・出身地等の「地元」に貢献したいというアスリートの活動を支援する「地元アスリート応援プログラム」を展開し、97人の競技活動(ゴルフ、フェンシング、車いすテニス等)を支援しています。
  - ・スポーツを通じて未来世代を応援する、以下4つの取組みを中心とした「明治安田の未来世代応援プログラム」を展開しています。また、今年度から、「海で遊ぶ楽しさ」「海洋環境保護」をテーマとして日本セーリング連盟と協働で未来世代向けの取組みを新たに展開しています。
- ① Jリーグとの協働により、全国のこどもたちへサッカーボールを約5,000個寄贈
  - ② Jリーグとの協働により、「Jリーグ×小野伸二スマイルフットボールツアー for a Sustainable Future supported by 明治安田」に協賛し、小学生の子どもたちを対象とした「サッカー教室」と「サステナトーク」を10回開催
  - ③ JLPGAとの協働により、ジュニアゴルフ普及活動「Hello, Golf!」を応援
  - ④ 日本バドミントン協会との協働により、バドミントン教室(5教室)を展開

### with Jリーグ

全国のこどもたちへ  
サッカーボールを寄贈

寄贈数

約5,000個



サッカーボール寄贈

小野伸二氏による  
小学生向けイベントを開催

開催数

10回



サッカー教室&サステナトーク

### with JLPGA

「Hello, Golf!」を通じて  
ツアー大会にこどもたちを  
招待

招待大会数

20大会

招待者数

2,660名



スナッグゴルフ体験

### with 日本バドミントン協会

大会への協賛や、  
バドミントン教室を開催

開催数

5回



バドミントン教室



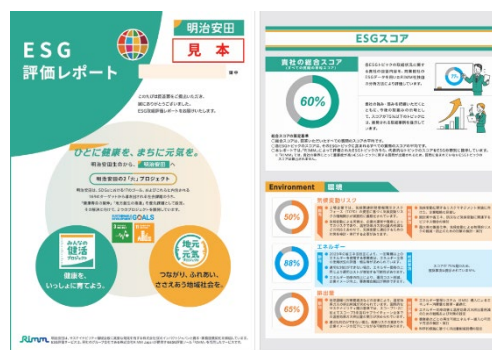
## 地域を支える企業・団体の持続的成長に資する取組み

- ・ 地元企業の従業員のみなさまが心身ともに健康で意欲的に働ける環境づくりに向け、累計 11,515 企業<sup>(注13)</sup> の健康経営認定をサポートしています。
- ・ 株式会社SDGインパクトジャパンとの業務提携に基づく協働取組みの一環として、従業員数100人以上1,000人未満の企業を対象に「ESG評価サービス」<sup>(注14)</sup> を提供しており、累計93企業<sup>(注15)</sup> にご活用いただいています。

### <健康経営セミナーの様子>



### <ESG評価サービス>



(注13) 2025年度9月末時点の累計実績

(注14) SDGインパクトジャパンのグループ会社が提供するESG評価ツール「RIMM」を活用し、ESGの各項目への企業の取組状況をスコア化した評価レポートを提供するサービス

(注15) 2024年6月～2025年11月の累計実績



都道府県別の地方自治体との連携協定締結状況  
(全国地方公共団体コード順、2025年9月末時点)

(※1) ◎包括連携協定/○健康増進に関する連携協定、(※2) 下線は包括連携協定

都道府県	都道府県 との 締結状況 (※1)	協定締結のある市区町村 (※2)	市区町村 との 締結数
北海道	◎	札幌市/函館市/ <u>小樽市</u> / <u>旭川市</u> /室蘭市/ <u>釧路市</u> / <u>帯広市</u> /北見市/ <u>夕張市</u> /岩見沢市/網走市/留萌市/苫小牧市/ <u>稚内市</u> /芦別市/江別市/ <u>赤平市</u> / <u>士別市</u> /名寄市/ <u>三笠市</u> / <u>根室市</u> /千歳市/ <u>滝川市</u> / <u>砂川市</u> / <u>歌志内市</u> / <u>深川市</u> /登別市/恵庭市/伊達市/北広島市/ <u>石狩市</u> / <u>北斗市</u> /当別町/ <u>松前町</u> / <u>福島町</u> / <u>知内町</u> / <u>木古内町</u> / <u>七飯町</u> / <u>鹿部町</u> / <u>八雲町</u> / <u>長万部町</u> / <u>江差町</u> / <u>上ノ国町</u> / <u>厚沢部町</u> / <u>乙部町</u> / <u>今金町</u> / <u>せたな町</u> /余市町/ <u>奈井江町</u> / <u>上砂川町</u> / <u>新十津川町</u> / <u>鷹栖町</u> / <u>東神楽町</u> / <u>比布町</u> / <u>愛別町</u> / <u>上川町</u> / <u>東川町</u> / <u>中富良野町</u> / <u>剣淵町</u> / <u>増毛町</u> / <u>美幌町</u> / <u>津別町</u> / <u>小清水町</u> / <u>訓子府町</u> / <u>大空町</u> / <u>厚真町</u> / <u>安平町</u> / <u>むかわ町</u> / <u>新ひだか町</u> / <u>音更町</u> / <u>広尾町</u> / <u>豊頃町</u> / <u>浦幌町</u> / <u>釧路町</u> / <u>浜中町</u> / <u>標茶町</u> / <u>弟子屈町</u> / <u>白糠町</u> / <u>中標津町</u> / <u>羅臼町</u>	80
青森県	◎	青森市/弘前市/ <u>八戸市</u> /黒石市/五所川原市/ <u>十和田市</u> / <u>三沢市</u> / <u>むつ市</u> /つがる市/平川市/平内町/今別町/蓬田村/外ヶ浜町/鰺ヶ沢町/深浦町/藤崎町/田舎館村/中泊町/ <u>六戸町</u> /東北町/六ヶ所村/おいらせ町/ <u>大間町</u> / <u>佐井村</u> / <u>三戸町</u> / <u>五戸町</u> / <u>田子町</u> / <u>南部町</u> / <u>階上町</u>	30
岩手県	◎	<u>盛岡市</u> / <u>宮古市</u> / <u>大船渡市</u> / <u>北上市</u> / <u>久慈市</u> / <u>遠野市</u> / <u>一関市</u> / <u>釜石市</u> / <u>二戸市</u> / <u>奥州市</u> / <u>滝沢市</u> / <u>雫石町</u> / <u>紫波町</u> / <u>矢巾町</u> / <u>西和賀町</u> / <u>金ヶ崎町</u> /平泉町/ <u>山田町</u> / <u>岩泉町</u> / <u>田野畑村</u> / <u>普代村</u> /野田村/九戸村/洋野町	24
宮城県	◎	仙台市/ <u>石巻市</u> / <u>塩竈市</u> / <u>気仙沼市</u> / <u>名取市</u> / <u>多賀城市</u> / <u>登米市</u> / <u>栗原市</u> / <u>東松島市</u> / <u>大崎市</u> / <u>富谷市</u> / <u>七ヶ宿町</u> / <u>大河原町</u> / <u>亘理町</u> / <u>山元町</u> / <u>七ヶ浜町</u> / <u>利府町</u> / <u>加美町</u> / <u>南三陸町</u>	19

秋田県	◎	<u>秋田市/能代市/大館市/湯沢市/鹿角市/由利本荘市/湯上市/大仙市/にかほ市/小坂町/藤里町/美郷町/東成瀬村</u>	13
山形県	◎	<u>山形市/米沢市/鶴岡市/酒田市/新庄市/寒河江市/上山市/長井市/天童市/東根市/尾花沢市/南陽市/山辺町/中山町/河北町/舟形町/真室川町/鮭川村/戸沢村/高畠町/三川町/庄内町/遊佐町</u>	23
福島県	◎	<u>福島市/会津若松市/郡山市/いわき市/白河市/須賀川市/喜多方市/二本松市/田村市/南相馬市/伊達市/桑折町/只見町/南会津町/会津坂下町/柳津町/三島町/西郷村/棚倉町/鮫川村/石川町/玉川村/三春町/小野町/檜葉町/富岡町/双葉町/新地町</u>	28
茨城県	◎	<u>水戸市/日立市/土浦市/古河市/石岡市/結城市/龍ヶ崎市/下妻市/常総市/常陸太田市/高萩市/北茨城市/笠間市/取手市/牛久市/つくば市/ひたちなか市/鹿嶋市/守谷市/那珂市/筑西市/坂東市/かすみがうら市/神栖市/茨城町/大洗町/城里町/美浦村/阿見町/八千代町/五霞町</u>	31
栃木県	◎	<u>宇都宮市/足利市/栃木市/佐野市/鹿沼市/日光市/小山市/真岡市/大田原市/矢板市/那須塩原市/さくら市/那須烏山市/下野市/上三川町/益子町/茂木町/市貝町/芳賀町/壬生町/塩谷町/高根沢町</u>	22
群馬県	—	<u>前橋市/高崎市/桐生市/伊勢崎市/太田市/沼田市/館林市/渋川市/藤岡市/富岡市/安中市/みどり市/吉岡町/甘楽町/みなかみ町/板倉町/明和町/千代田町/大泉町/邑楽町</u>	20
埼玉県	◎	<u>さいたま市/川越市/熊谷市/川口市/行田市/秩父市/所沢市/飯能市/加須市/本庄市/東松山市/春日部市/狭山市/羽生市/鴻巣市/深谷市/上尾市/草加市/越谷市/蕨市/戸田市/入間市/朝霞市/和光市/新座市/桶川市/久喜市/北本市/八潮市/三郷市/蓮田市/坂戸市/幸手市/鶴ヶ島市/日高市/吉川市/ふじみ野市/白岡市/伊奈町/三芳町/毛呂山町/嵐山町/小川町/川島町/吉見町/鳩山町/皆野町/長瀬町/小鹿野町/美里町/上里町/寄居町/宮代町/杉戸町/松伏町</u>	55

千葉県	◎	千葉市/銚子市/市川市/船橋市/館山市/木更津市/松戸市/野田市/茂原市/成田市/佐倉市/東金市/旭市/習志野市/柏市/勝浦市/市原市/流山市/八千代市/我孫子市/鴨川市/鎌ヶ谷市/君津市/富津市/浦安市/四街道市/袖ヶ浦市/八街市/白井市/富里市/南房総市/匝瑳市/香取市/山武市/いすみ市/大網白里市/神崎町/多古町/東庄町/九十九里町/一宮町/睦沢町/長生村/白子町/長柄町/長南町/大多喜町/御宿町/鋸南町	49
東京都	◎	千代田区/中央区/港区/文京区/台東区/墨田区/江東区/品川区/大田区/世田谷区/渋谷区/中野区/杉並区/豊島区/北区/荒川区/板橋区/練馬区/足立区/江戸川区/八王子市/立川市/武蔵野市/三鷹市/青梅市/府中市/昭島市/調布市/町田市/小金井市/小平市/日野市/東村山市/国立市/福生市/狛江市/東大和市/清瀬市/東久留米市/武蔵村山市/多摩市/稲城市/羽村市/あきる野市/西東京市/瑞穂町/日の出町/檜原村	48
神奈川県	◎	横浜市/川崎市/相模原市/横須賀市/平塚市/鎌倉市/藤沢市/小田原市/茅ヶ崎市/逗子市/三浦市/秦野市/厚木市/大和市/伊勢原市/海老名市/座間市/南足柄市/綾瀬市/葉山町/寒川町/大磯町/二宮町/中井町/大井町/松田町/山北町/開成町/箱根町/真鶴町/湯河原町/愛川町/清川村	33
新潟県	○	新潟市/長岡市/三条市/柏崎市/新発田市/小千谷市/加茂市/十日町市/見附市/村上市/燕市/糸魚川市/五泉市/上越市/佐渡市/魚沼市/南魚沼市/出雲崎町/津南町/刈羽村	20
富山県	◎	富山市/高岡市/魚津市/氷見市/滑川市/黒部市/砺波市/舟橋村	8
石川県	◎	金沢市/七尾市/小松市/輪島市/珠洲市/加賀市/羽咋市/かほく市/白山市/能美市/野々市市/津幡町/内灘町/志賀町/宝達志水町/中能登町/穴水町/能登町	18
福井県	◎	福井市/敦賀市/小浜市/大野市/勝山市/鯖江市/あわら市/越前市/坂井市/永平寺町/越前町/高浜町/若狭町	13
山梨県	◎	甲府市/富士吉田市/山梨市/大月市/韮崎市/南アルプス市/甲斐市/笛吹市/上野原市/甲州市/中央市/市川三郷町/早川町/身延町/南部町/昭和町	16

長野県	◎	<u>長野市</u> /松本市/上田市/岡谷市/飯田市/諏訪市/須坂市/小諸市/伊那市/駒ヶ根市/中野市/大町市/飯山市/茅野市/塩尻市/佐久市/千曲市/東御市/安曇野市/佐久穂町/南箕輪村/高森町/豊丘村/生坂村/松川村/白馬村	26
岐阜県	○	岐阜市/大垣市/高山市/多治見市/関市/中津川市/美濃市/瑞浪市/羽島市/恵那市/美濃加茂市/土岐市/各務原市/可児市/山県市/瑞穂市/飛騨市/本巣市/郡上市/下呂市/海津市/岐南町/笠松町/養老町/垂井町/関ヶ原町/神戸町/輪之内町/安八町/揖斐川町/大野町/池田町/北方町/坂祝町/富加町/川辺町/七宗町/八百津町/白川町/東白川村/御嵩町/白川村	42
静岡県	◎	静岡市/浜松市/沼津市/熱海市/三島市/富士宮市/伊東市/島田市/富士市/磐田市/焼津市/掛川市/藤枝市/御殿場市/袋井市/下田市/裾野市/湖西市/御前崎市/菊川市/伊豆の国市/東伊豆町/河津町/南伊豆町/松崎町/西伊豆町/函南町/清水町/長泉町/小山町/川根本町	31
愛知県	◎	名古屋市/豊橋市/岡崎市/一宮市/瀬戸市/半田市/春日井市/豊川市/津島市/碧南市/刈谷市/豊田市/安城市/西尾市/蒲郡市/犬山市/常滑市/江南市/小牧市/稲沢市/新城市/東海市/大府市/知多市/知立市/尾張旭市/高浜市/豊明市/日進市/田原市/愛西市/清須市/北名古屋市/弥富市/あま市/長久手市/東郷町/大口町/大治町/蟹江町/飛島村/東浦町/南知多町/美浜町/武豊町/幸田町	46
三重県	◎	津市/四日市市/伊勢市/松阪市/桑名市/鈴鹿市/名張市/尾鷲市/亀山市/いなべ市/伊賀市/木曽岬町/東員町/菰野町/朝日町/川越町/明和町/玉城町	18
滋賀県	◎	大津市/彦根市/長浜市/近江八幡市/草津市/守山市/栗東市/甲賀市/野洲市/高島市	10
京都府	◎	京都市/福知山市/舞鶴市/宇治市/亀岡市/長岡京市/八幡市/京田辺市/京丹後市/精華町/京丹波町	11
大阪府	◎	大阪市/堺市/岸和田市/豊中市/吹田市/泉大津市/高槻市/貝塚市/守口市/枚方市/茨木市/八尾市/泉佐野市/富田林市/寝屋川市/河内長野市/松原市/大東市/和泉市/箕面市/羽曳野市/門真市/高石市/東大阪市/泉南市/四條畷市/交野市/阪南市/島本町/熊取町	30



兵庫県	—	神戸市/姫路市/尼崎市/西宮市/洲本市/芦屋市/伊丹市/相生市/豊岡市/加古川市/赤穂市/宝塚市/三木市/高砂市/川西市/小野市/三田市/加西市/丹波篠山市/養父市/南あわじ市/淡路市/宍粟市/たつの市/猪名川町/播磨町/市川町/福崎町/太子町/上郡町	30
奈良県	—	奈良市/大和高田市/大和郡山市/天理市/橿原市/桜井市/生駒市/三郷町/田原本町/王寺町	10
和歌山県	◎	和歌山市/海南市/橋本市/有田市/御坊市/田辺市/新宮市/紀の川市/岩出市/紀美野町/かつらぎ町/九度山町/高野町/湯浅町/広川町/日高町/日高川町/白浜町/すさみ町/那智勝浦町/串本町	21
鳥取県	◎	鳥取市/米子市/倉吉市/境港市/岩美町/日野町	6
島根県	◎	松江市/浜田市/出雲市/益田市/大田市/安来市/江津市/雲南市/奥出雲町/飯南町/川本町	11
岡山県	◎	岡山市/倉敷市/津山市/笠岡市/総社市/高梁市/赤磐市/浅口市/和気町/矢掛町/新庄村/吉備中央町	12
広島県	◎	広島市/呉市/竹原市/三原市/尾道市/福山市/府中市/三次市/大竹市/東広島市/廿日市市/安芸高田市/江田島市/府中町/海田町/熊野町/安芸太田町/北広島町	18
山口県	◎	下関市/宇部市/山口市/萩市/防府市/下松市/岩国市/光市/長門市/柳井市/美祢市/周南市/山陽小野田市/周防大島町/和木町/上関市/田布施町/平生町/阿武町	19
徳島県	◎	徳島市/鳴門市/小松島市/阿南市/吉野川市/美馬市/勝浦町/石井町/北島町/藍住町/上板町	11
香川県	◎	高松市/丸亀市/坂出市/善通寺市/観音寺市/さぬき市/東かがわ市/三豊市/土庄町/小豆島町/三木町/宇多津町/琴平町/多度津町/まんのう町	15
愛媛県	◎	松山市/今治市/宇和島市/八幡浜市/新居浜市/西条市/大洲市/伊予市/四国中央市/西予市/東温市/久万高原町/松前町/砥部町/内子町/愛南町	16
高知県	◎	高知市/安芸市/南国市/土佐市/須崎市/四万十市/いの町/中土佐町	8

福岡県	◎	北九州市/福岡市/大牟田市/久留米市/直方市/飯塚市/田川市/柳川市/八女市/筑後市/大川市/行橋市/豊前市/中間市/小郡市/筑紫野市/春日市/宗像市/太宰府市/古賀市/福津市/うきは市/嘉麻市/朝倉市/みやま市/那珂川市/宇美町/篠栗町/志免町/須恵町/新宮町/粕屋町/岡垣町/大刀洗町	34
佐賀県	◎	佐賀市/唐津市/鳥栖市/武雄市/鹿島市/小城市/神埼市/基山町/みやき町	9
長崎県	◎	長崎市/佐世保市/島原市/諫早市/大村市/平戸市/松浦市/五島市/雲仙市/長与町/波佐見町	11
熊本県	◎	熊本市/八代市/人吉市/玉名市/山鹿市/菊池市/宇土市/宇城市/天草市/合志市/美里町/菊陽町/益城町/球磨村/苓北町	15
大分県	◎	大分市/別府市/中津市/日田市/佐伯市/臼杵市/津久見市/竹田市/豊後高田市/杵築市/由布市	11
宮崎県	◎	宮崎市/都城市/延岡市/日南市/小林市/日向市/串間市/西都市/えびの市/新富町	10
鹿児島県	○	鹿児島市/鹿屋市/枕崎市/出水市/垂水市/薩摩川内市/日置市/霧島市/志布志市/奄美市/伊佐市/始良市/東串良町/肝付町	14
沖縄県	○	那覇市/浦添市/名護市/沖縄市/うるま市/南城市/恩納村/宜野座村/金武町/伊江村/読谷村/嘉手納町/北谷町/中城村/与那原町	15
合計	44		1061

## 協定締結先の自治体を対象とした「満足度調査」の結果

当社では、地域のみなさまの健康づくりや豊かな地域づくりにいっそう貢献していくため、全国の連携協定締結先の自治体を対象に、当社との協働活動、取組みに対する「満足度調査」を実施しています。

アンケート結果は、これまでの活動の振り返りや、今後の取組みの充実・発展に向けて活用してまいります。

### 1. 実施概要

調査期間	2024年9月2日（月）～11月29日（金）
対象者	991自治体（2024年3月末までに協定締結した都道府県を含む自治体）
調査方法	各自治体を担当している弊社の地域本部・支社から自治体へ持参
回答状況	回答数：971自治体（回答率98.0%）

### 2. 調査結果

#### （1）総合満足度

- ・2024年度における当社との協働取組みに対する総合満足度（満足＋やや満足）は92.6%

＜当社との協働取組みに対する総合評価＞

	満足	やや満足	ふつう	やや不満	不満
総合満足度	70.9%	21.7%	6.1%	0.2%	0.0%

#### （2）自治体の地域課題と各種課題解決に向けた当社への支援ニーズ

- ・自治体の地域課題は、「健康づくり・介護予防」が9割弱と最も高位
- ・地域課題に対する当社への支援ニーズは、共通して「情報発信」「イベント支援」

地域課題	自治体からの主な回答（自由回答から抜粋）
健康づくり・ 介護予防	・健康診断、がん検診の受診率向上につながる取組みのサポート ・減塩、野菜の摂取普及・啓発に向けた、健康チェックイベントによるサポート
結婚・出産・ 子育て	・子育て世帯や若者世代に向けたサポート（子育て相談や若者向け講座等） ・気軽に集まれるワークショップやイベント開催のサポート
防災・ 危機管理	・「災害時要配慮者」に対する日頃のサポート（見守り、避難の支援・啓発等） ・自治体職員や住民等への周知・啓発
まちづくり	・行政サービス情報、自治体情報の周知 ・定住人口の増加につながる民間企業、地域活動の支援
教育・文化	・行政課題に対する講座の実施、住民に対する行政サービスの周知 ・世代に応じた住民への講座・講師の支援、文化イベントの提供